

教科(科目)	国語(言語文化)	単位数	2単位	年次	1年次
	必修	必選択	総合選択	自由選択	
使用教科書	第一学習社『新編 言語文化』				
副教材等	第一学習社『新編言語文化 学習課題集』、第一学習社『カラー版 新国語便覧』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の3系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにします。
- (2) 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上するようにします。

3 指導の重点

- ・基本的な言語事項の習得を目指します。
- ・文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
- ・積極的に他者と関わり、自分の思いや考えを互いに伝え合おうとする態度を育てます。
- ・多くの文章に親しむことで、読書習慣の確立を目指します。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させようとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・考査、小テストの分析 ・ノート、プリントなどの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・考査、小テストの分析 ・ノート、プリントなどの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業や提出課題への取り組み ・ノート、プリントなどの内容の確認などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数と領	教材名	学習活動（指導内容）	時	評価方法
---	-----	--------	-----	------------	---	------

		域			間	
4	小説を読む (一)	4 B「読むこと」	宮下奈都 「よろこびの歌」	・「私」と周囲との意識のずれが何から生じているのかを捉えながら、「私」の心情の動きを読み取る。	4	・授業への出席状況 ・話し合い ・発表 ・授業への取り組み方 ・発問への解答 ・提出物
5	詩の楽しみ	6 A「書くこと」	室生犀星 「小景異情」他	・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解する。	6	
6	古文入門	6 B「読むこと」	「古文の学習」 『伊曾保物語』 「鳩と蟻のこと」	・歴史的仮名遣いに慣れ、古典についての興味・関心を広げる。	6	
7	古文に親しむ	8 B「読むこと」	『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」	・現代に通じる人間のありようを味わいながら、古文世界への親しみを深める。	8	
8	短歌と俳句	4 A「書くこと」	大切な言葉 手毬歌	・短歌や俳句の鑑賞のしかたを理解し、作品の鑑賞文を書く。	4	
9	漢文入門	8 B「読むこと」	「漢文の学習」 「訓読に親しむ (一) (二) (三)」	・訓読の基本を理解し、訓点に従って漢文を読んだり書き下し文に改めたりする。	8	
10	小説を読む (二)	10 B「読むこと」	芥川龍之介 「羅生門」	・場面ごとの下人の心情を追いながら、老婆の論理について考える。 ・作品から読み取ることができる主題について考える。	10	・授業への出席状況 ・話し合い ・発表 ・授業への取り組み方 ・発問への解答 ・提出物
11						
12	随筆を読む	6 B「読むこと」	『徒然草』 「仁和寺にある法師」	・随筆『徒然草』の特色を知り、古典への興味・関心を広げる。	6	
1	小説を読む (三)	6 B「読むこと」	宮沢賢治 「よだかの星」	・主人公の置かれた状況から生じる心理や行動をもとに人間の生き方を考える。	6	
2	物語を楽しむ	6 B「読むこと」	『伊勢物語』 「筒井筒」	・物語文学における和歌の役割に着目しながら、人物・情景・心情などの表現に即して読み味わい、物語文学への興味・関心を広げる。	6	
3	漢詩の鑑賞	6 B「読むこと」	「春曉」 「静夜思」 「送元二使安西」	・近体詩の詩形・押韻・対句・一句の構成などについて理解する。	6	

計 70 時間 (50 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「書くこと」 10 時間	B「読むこと」 【古典】40 時間 【近代以降の文章】20 時間
-----------------	------------------	-------------------------------------

7 課題・提出物等

- ・タブレット端末を使用し、グーグルクラスルーム等指示された方法で課題を提出する。(適宜担当の指示に従うこと。)
- ・長期休業中の課題も答え合わせをして提出することとする。

8 担当者からの一言

現代文・古典の様々なジャンルの文章を学習します。作品のおもしろさを味わいながら読み進めていきましょう。また社会生活に必要な漢字や語句についても年間を通して学習していきます。